



今月の表紙

かわまた田んぼリンクでは、今年からカーリングコーナーが設置されました。續橋想碧くん(小綱木)と菅野志月くん(小綱木)にはまだ少し早かったみたいで、氷上で少し険しい表情を見せてくれました。来年は投げられるといいね。



▼ダウンロードはこちらから



ios用



android用

▼川俣町公式ホームページ・各種 SNS はこちら



Instagram



X



Facebook



Ka-LINE

毎月1日発行

川俣町役場(福島県伊達郡川俣町字五百田30)



Tel (024)566-2111

https://www.town.kawamata.lg.jp/

E-mail:soumu@town.kawamata.lg.jp



CONTENTS - 主な内容 - 2025_3 March

- 町制施行70年特集
- 03 川俣町70年のあゆみ
- 06 コスキン市派遣報告
- 07 元気発進商品券/恋活AQUARIUM
- 08 地元密着通信
- 10 まちのわだい
- 12 川俣美より/団員募集/今月のスマイル
- 14 かわまた短歌会/ウキウキデイブック
- 16 職員の給与を公表します
- 18 ごみ減量チャレンジ/子育て情報navi
- 20 各課からのお知らせ
- 26 わたしの夢

川俣小学校5年生のみなさんへ

楽しくお仕事に
チャレンジ

**かわまた
おしごと
たいけん**

in ミツフジ株式会社 **定員 15名**

3.24 10:00~12:45
(月) 申込〆切 3月10日

スケジュール

- 9:30 役場集合
- 10:00 お仕事体験 in ミツフジ
「最先端スマートウェアができるまで」
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 役場解散

政策推進課まちづくり推進係(内線2451)へお電話をいただくか申込フォームよりお申込みください。

暮らしの手帳

人の動き -population-
令和7年2月1日現在(前月比)

人口	10,839	(-25)
男	5,369	(-13)
女	5,470	(-12)
世帯	4,647	(-5)

今月の休日当番医 -doctor-

2日	済生会川俣病院	TEL 566-2323
9日	十二社内科外科	TEL 597-8907
16日	あんざい整形外科クリニック	TEL 565-3511
20日	済生会春日診療所	TEL 566-2707
23日	済生会川俣病院	TEL 566-2323
30日	村上医院	TEL 565-3637

※あんざい整形外科クリニックには、2名(整形外科、内科含む)の医師が在所しています(在宅当番医時のみ)。

救急車を呼ぶべきか迷ったら(24時間対応)

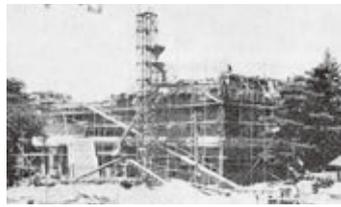
#7119 福島県救急電話相談 ※繋がらない場合は024-524-3020まで

毎日(午後7時~翌朝8時)の子どもの症状の相談

#8000 福島県子ども救急電話相談 ※繋がらない場合は024-521-3790まで



A 役場庁舎竣工



B 福祉センター竣工



C 1926 - 1972
国鉄川俣線

かつて福島市の松川駅から川俣町の岩代川俣駅までを結んでいた日本国有鉄道の鉄道路線がありました。

絹織物の搬出と生産に必要な物資の搬入のため福島市松川から12.2 kmに及ぶ線路が建設されました。戦時中路線が撤去されたものの、戦後国鉄線として復活しました。しかし、経営は年々悪化し、関係市町村間での話し合いの結果、1972年に廃止されることになりました。

1975 ← 1955

1975 (昭和50)年	1974 (昭和49)年	1973 (昭和48)年	1972 (昭和47)年	1970 (昭和45)年	1969 (昭和44)年	1967 (昭和42)年	1966 (昭和41)年	1965 (昭和40)年	1963 (昭和38)年	1962 (昭和37)年	1961 (昭和36)年	1960 (昭和35)年	1955 (昭和30)年
10月 第1回コスキン・エン・ハポン開催 F	5月 ふもとがわ団地建設 E	10月 第1回絹市開催 D	5月 国鉄川俣線廃止 C	4月 済生会川俣病院開業	9月 川俣高等学校全生徒新校舎に移転	11月 福祉センター竣工 B	10月 国鉄川俣線ディーゼルカーになる	10月 町章制定	12月 川俣方部衛生処理組合を設立	6月 役場庁舎竣工 A	9月 上水道開設	12月 川俣町商工会が発足	3月 一町七か村が合併し川俣町となる

町制施行 70周年特集
70 川俣町
年のあゆみ

私たちの住む川俣町は、昭和30年の3月1日、町村合併法に基づき、1町7か村（川俣町、富田村、福田村、小島村、飯坂村、大綱木村、小綱木村、安達郡山木屋村）が合併して誕生しました。

そして令和7年3月1日、合併70周年の節目を迎えました。この70年間には様々な困難や苦労がありました。しかし、私たちはその壁を乗り越えて今日という日を迎えています。今月号の特集では、川俣町の歩んできた70年の歴史を写真とともに振り返ります。



F 1975 -
コスキン・エン・ハポン

昭和30年、川俣町在住の長沼康光氏が「ノルテ・ハポン」（北日本中南米音楽連盟）を発足させました。その後の昭和50年の秋に、長沼氏や中南米音楽の愛好グループ、ノルテ・ハポンの呼びかけで、東京、仙台、新潟、山形、名古屋と地元の即製チームなど合わせて13組による「第1回コスキン・エン・ハポン」が福祉センターを会場として行われました。それから毎年開催され、現在では10月の第2土、日、祝日の3日間、国内で最大級の中南米音楽祭として、また町最大のイベントとして発展しています。

※写真は第3回の時



D 第1回絹市開催



E ふもとがわ団地建設